

北のウォール街を学ぶ！ 第3弾 (2017/03/12)

ツイート

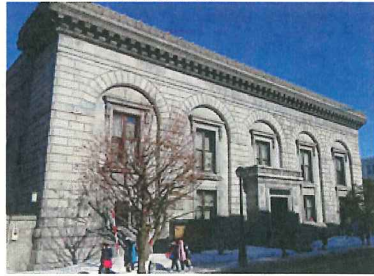
ニトリ小樽芸術村(色内1)が主催する旧三井銀行小樽支店研究会の第3回目が、3月12日(日) 13:00から旧三井銀行小樽支店(色内1)で開催された。

同研究会は、旧三井銀行を基軸に、小樽の経済・金融・人々の暮らしなどを多角的な視点から探る、全10回の連続講座。12日は「北のウォール街の経済」と題して、小樽商科大学の江頭進副学長が講演を行った。



今回の講演は、明治24年から大正3年頃までの小樽経済の様子を中心とする内容。一般に旧三井銀行や旧拓殖銀行、旧三菱銀行などが並ぶ、色内大通り周辺だと思われる北のウォール街は、かつて小樽米穀取引所のあった現産業会館から日銀を結ぶ、現在の浅草通り線や商業会議所(現商工会議所)のあった、現在の水道局から花園銀座街までを貫く嵐山通り周辺までも含む広い範囲だったのではないかと話した。

また、ロンドンの穀物相場に影響を与えたとされる高橋直治については、これまで第一次世界大戦により穀物が不足したヨーロッパで、小豆の投機的な取引を行った結果、巨万の富を手に入れ「小豆将軍」と呼ばれるようになったと説明されていたが、高橋直治は、同大戦が始まる前に、既に「小豆将軍」と呼ばれており、さらにロンドンには小豆市場もないことから、「小豆将軍」というのは、高橋直治自身が衆議院議員選挙に出馬した時のキャッチフレーズとしたものではないかとの考えを話した。



◎高橋直治

このほか、藤山要吉や板谷宮吉など小樽商人の活躍を挙げながら、「明治以降、小樽に集まってきた有象無象の人々の経済活動が、北のウォール街を形成したと考えた方が良い」と話すなど、新鮮な切り口の講演に、会場で聞いていた歴史ガイド活動をしている男性は、「今後のガイドの説明に取り入れていきたい」と、感想を述べていた。

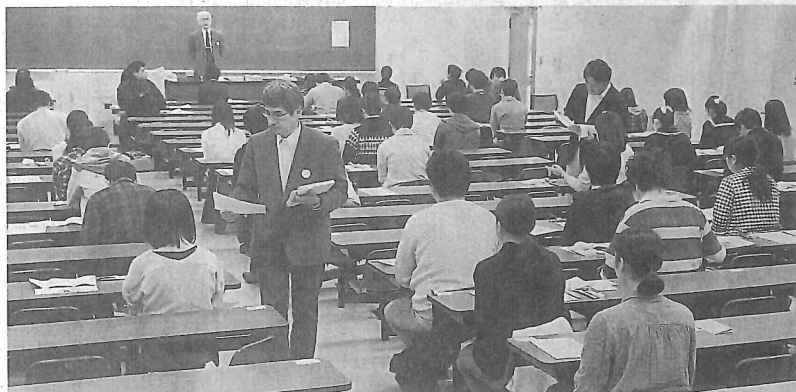
講演を聞いた会社経営の市内男性は、「スタンドグラス美術館を観に行った時に友の会に入会し、今回案内をもらったので参加してみたが、大変ためになった」と話し、早速、次回参加を申し込んでいた。

講演終了後は、館内を自由に見学する時間も設けられ、参加者は地下貸金庫や2階会議室などを見学した。

次回、第4回「小樽の銀行建築」は4月9日(日) 13:00から開催。旧三井銀行を中心に、他銀行との関係性を探り、小樽に銀行が最も多かった大正末の地図を片手に、今は無くなった銀行などをイメージしながらまち歩きを行う。参加費は一般1,500円(小樽市民1,000円)・高校生以上700円で、スタンドグラス美術館とアール・ヌーヴォーグラス館の入館チケットが付く。現在、参加者を募集している。申込はFAX(0134-31-1035)、またはメールで。



また、小樽芸術村友の会の申込も随時受け付けている。同会に入会すると、芸術村全施設の利用やミュージアムショップオリジナル商品の割引、各種開催イベントの案内や優待などが受けられる。入会金・年会費無料。



北大で後期日程の試験に臨む受験生

「春」へもうひと踏ん張り

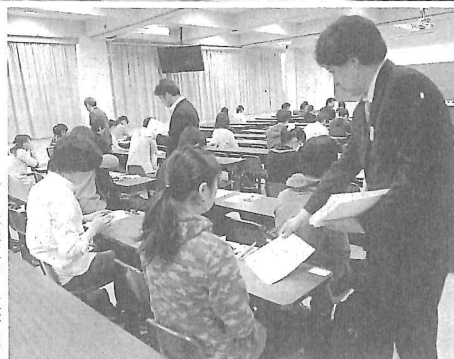
道内国公立6大学で後期試験

2017年度国公立大入試の後期日程2次試験が12日、全国で始まり、道内では6大学が学力検査や面接試験などを行った。

道内の国公立12大学のうち、北大、北海道教育大、北見工業大、旭川医科大学、札幌市立大、名寄市立大の6大学が試験を実施。札幌市北区の北大では午前9時半から、約1740人が理科や小論文などの問題に挑んだ。北海道教育大のみ、13日も試験を行う。

小樽商科大、室蘭工業大、公立はこだて未来大、帯広畜産大の4大学は、後期日程の2次試験を課さず、大入試センター試験の結果などで合否を決める。札幌医科大学と釧路公立大は後期の募集をしていない。後期の合格発表は20日から順次行われる。

毎日新聞 29年3月13日



職員から問題用紙を渡される受験生
札幌市北区の北海道大で

道内も6大学で後期入試が始まる。国公立大入試の2次試験後期日程が12日始まり、道内は北海道大など6大学で学力検査や面接などがあつた。一部は13日も面接などがあり、20、23日に合格発表される。

実施したのは北大のほか、道教育大▽旭川医大▽北見工大▽札幌市立大▽名寄市立大。小樽商大と帯広畜産大、室蘭工大、はこだて。【尾野淳】

て未来大の4大学は個別試験を実施せず、大入試センター試験の結果で合否を決める。北大は予定していた第1段階選抜を実施せず、1742人が受験。特別選抜のAO入試の欠員補充9人を含めた募集人員は496人で、平均倍率は昨年より0.4倍低い3.5倍。試験は午前9時半から始まり、総合問題などの筆記試験のほか、小論文や面接を受けた。